

所属 創造表現学部		職名 教授	氏名 宮田 雅子	学位 修士（学際情報学）	兼任している研究科 文化創造研究科
研究分野 思想、芸術およびその関連分野			研究分野のキーワード デザイン論、情報デザイン、メディア		
学歴					
2000年03月	武蔵野美術大学 造形学部 基礎デザイン学科 卒業				
2004年03月	東京大学 大学院 学際情報学府 修士課程 修了				
2006年03月	東京大学 大学院 学際情報学府 博士課程 中退				
職歴					
2000年04月	凸版印刷株式会社 商印事業本部（2002年3月まで）				
2006年04月	東京芸術大学美術学部先端芸術表現科 常勤助手（2007年3月まで）				
2007年04月	東京芸術大学美術学部先端芸術表現科 助教（2009年3月まで）				
2009年04月	札幌大谷大学短期大学部美術科 専任講師（2012年3月まで）				
2012年04月	札幌大谷大学芸術学部美術学科 専任講師（2014年3月まで）				
2014年04月	愛知淑徳大学メディアプロデュース学部メディアプロデュース学科 准教授（2016年3月まで）				
2016年04月	愛知淑徳大学創造表現学部創造表現学科 准教授（2021年3月まで）				
2021年04月	愛知淑徳大学創造表現学部創造表現学科 教授（現在に至る）				
研究活動					
著書(CD・DVD等を含む)・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当箇所・該当頁数
著書(CD・DVD等を含む)					
学術論文					
多様性に拓かれたミュージアムを考える教材の制作と実践	共著	2022年03月	愛知淑徳大学 愛知淑徳大学大学院—文化創造研究科紀要— 第9号	宮田雅子・村田麻里子	1頁～22頁
メディアをつくりアソシエーションを展開する——『5：Designing Media Ecology』の実践を踏まえて	共著	2025年07月	日本メディア学会 メディア研究 107号	水越伸・宮田雅子	21頁～40頁
学会発表					
Practicing Glocalization Through Magazine Design	単独発表	2023年07月	IAMCR(The International Association for Media and Communication Research)(Lyon)		
画像生成AIに対する大学生のイメージについての調査——「現代デザイン論」の授業前後における比較	単独発表	2025年06月	日本デザイン学会 第72回春季研究発表大会(札幌市立大学)		
人から人へ、手渡すことで場をつくる——雑誌『5』のコミュニケーションデザインから	単独発表	2025年06月	日本デザイン学会 第72回春季研究発表大会(札幌市立大学)		
作品・制作等					
『5：Designing Media Ecology』第2期 第01号	単独	2024年03月			デザイン、表紙制作
『5：Designing Media Ecology』第2期 第02号	単独	2024年12月			デザイン、表紙制作
その他業績					
ミニシンポジウム「社会情報としてのアート・表現—分断・複雑化する社会における関係性の創発へ」討論者	単独	2026年02月	社会情報学会 関西支部研究会 研究会		シンポジウムの討論者として登壇
学会等における主な活動					

受賞		
2014年07月06日	日本デザイン学会第61回研究発表大会グッドプレゼンテーション賞	
所属学会		
2002年04月～現在	日本デザイン学会	2024年04月～現在 代議員
2002年04月～現在	基礎デザイン学会	2010年04月～2013年03月 運営委員 2014年04月～現在 理事
2011年05月～2015年08月	日本記号学会	
2013年08月～2015年08月	日本基礎造形学会	
2016年04月～現在	日本マス・コミュニケーション学会	
2021年05月～現在	カルチュラル・スタディーズ学会	
社会活動		
2023年01月26日	広報なごや企画デザイン及び版下作成業務委託事業者の選定に係る公募型プロポーザルの評価委員	
2023年03月20日	名古屋城ウェブサイト運営・管理業務委託 業務者評価委員	
2023年04月17日	名古屋城観覧環境の整備にむけたサインマニュアル作成及びICT活用方法等調査検討業務委託事業者評価委員	
2023年08月21日	名古屋市教育委員会生涯学習課「メディアと社会」講師	
2025年01月	広報なごやプロポーザル評価委員	
教育活動		
教育実践上の主な業績	年 月 日	概 要
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		
2 作成した教科書、教材、参考書		
視聴覚教材，解説資料，およびワークシートの作成	2009年04月～現在	デザインの授業においては，座学による知識の習得だけでなく，学生が興味を持って授業に参加することができるよう，毎回オリジナルの教材を用意して使用している。
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
武蔵野美術大学「デザイン論 A」ゲストスピーカー	2023年06月28日	武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科の授業「デザイン論 A」において、ゲストスピーカーとして講演をおこなった。
講座「メディアと社会」の講師	2023年08月21日	名古屋市教育委員会生涯学習課の講座「メディアと社会」において、デザインに関する講演をおこなった。
昭和女子大学「デザイン計画特講」ゲストスピーカー	2024年06月17日	昭和女子大学の講義「デザイン計画特講」において、ゲストスピーカーとして講演をおこなった。
4 その他教育活動上特記すべき事項		
5 大学運営		
Ⅴ 資格・免許、特許等		
資格・免許		
特許等		